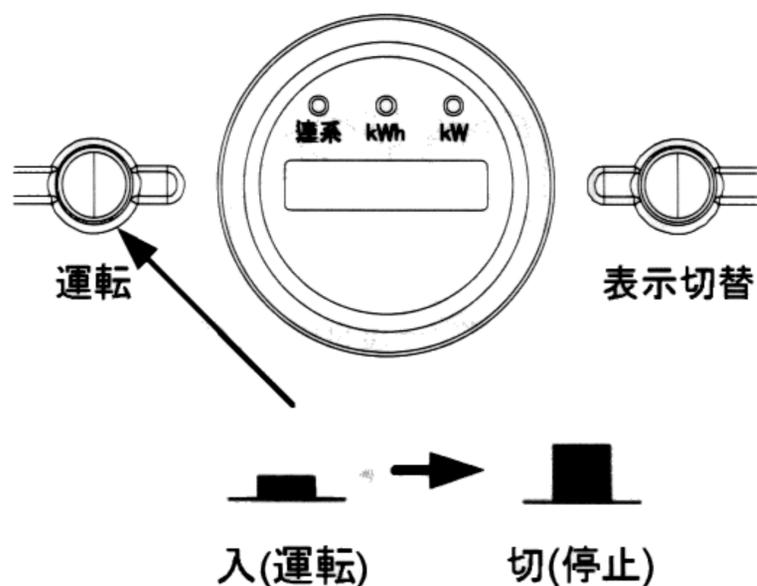


停電時の運転(自立運転)

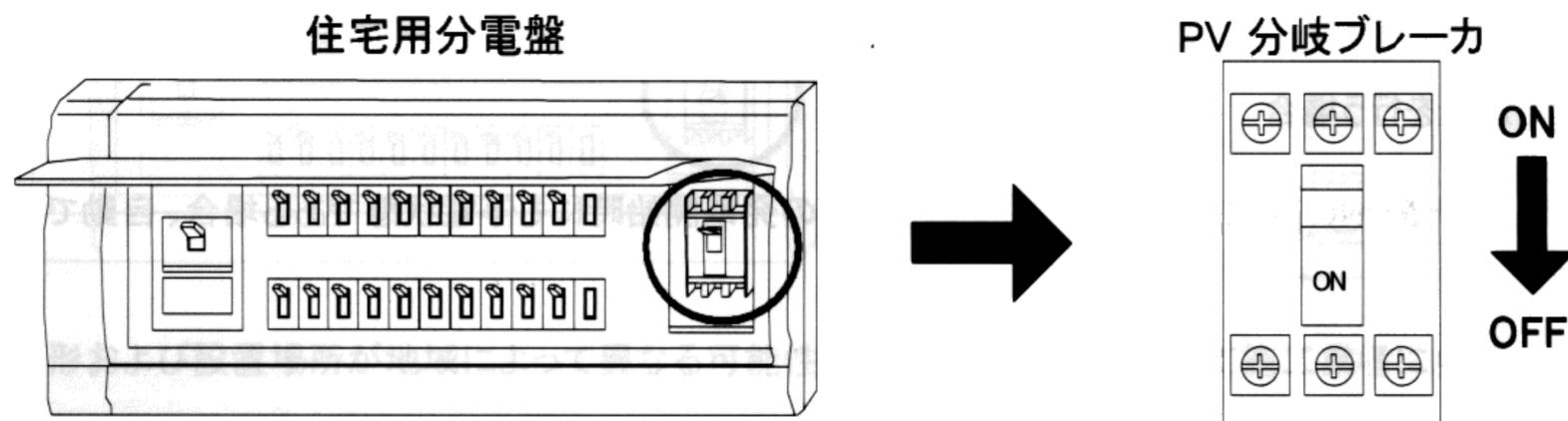
停電時にも、日照があれば装置は電力を生産し、自立運転出力(専用コンセント、自立運転出力ターミナルブロック)に供給(100Vac、最大1500W)します。ただし、日照が不足すると、1500Wまで使用出来ないこともあります。

▶ 連系運転から自立運転に切り替え

1. 運転スイッチを切ります。

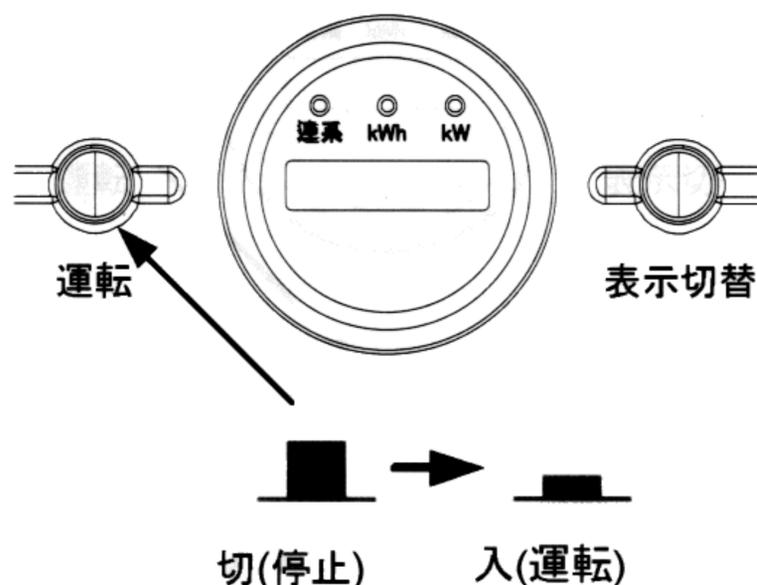


2. 住宅用分電盤(外部分電盤)のPV分岐ブレーカーを OFF にします。



分電盤の形や設置場所は、地域によって異なる可能性があります。必要に応じて施工業者にお問い合わせください。

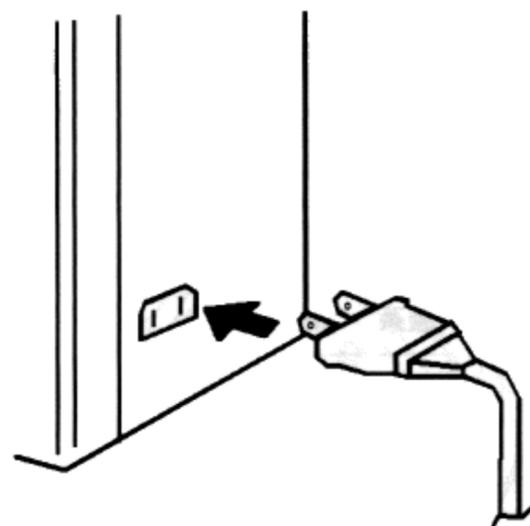
3. 運転スイッチを入れます。



連系運転から自立運転に切り替えたとき、約10秒後に発電を開始します。

4. 使用する電気製品を、自立運転出力コンセントに接続します。

自立運転出力(パワーコンディショナの側面の専用コンセント及び自立運転出力端子台に接続された専用コンセント〔別途の設置工事をした場合〕)に使用する電気製品の電源プラグを差し込んでください。



注意：装置の基本設定である電源周波数は60Hzです。一度50Hz系統へ連系させると、50Hz設定に切替わります。

- 負荷によって、使用出来ないものがあります。
- 自立運転時の最大出力電流は、15Aです。
- 太陽の日射が弱い時に自立運転をすると、電源がON/OFFを繰り返えしたり、運転を停止してしまう可能性があります。これは、製品の故障ではなく、製品に供給される発電量の不足しているためです。不安定な電力供給は電気製品の故障の原因となりますので、この場合は装置の使用を中止してください。

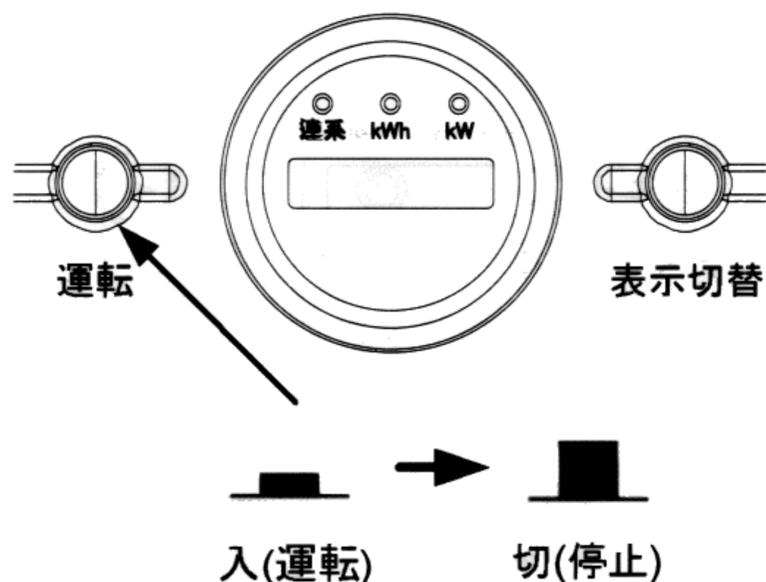
5. 翌日も自立運転を行う場合

装置の運転スイッチをONの状態に維持してください。翌日の発電開始時にも停電状態である場合、自動で自立運転を開始します。

復電時の運転

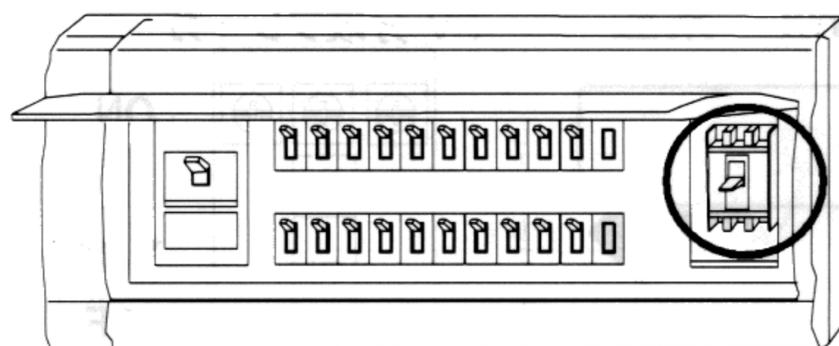
▶ 自立運転から連系運転に戻す

1. 運転スイッチをOFFにします。

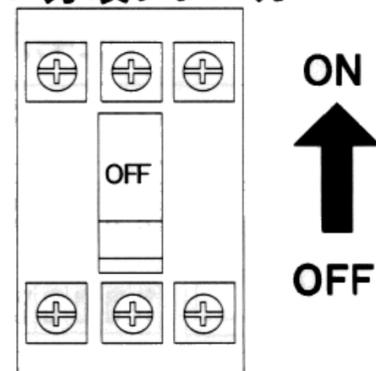


2. 住宅用分電盤(外部分電盤)のPV分岐ブレーカーをON にしてください。

住宅用分電盤

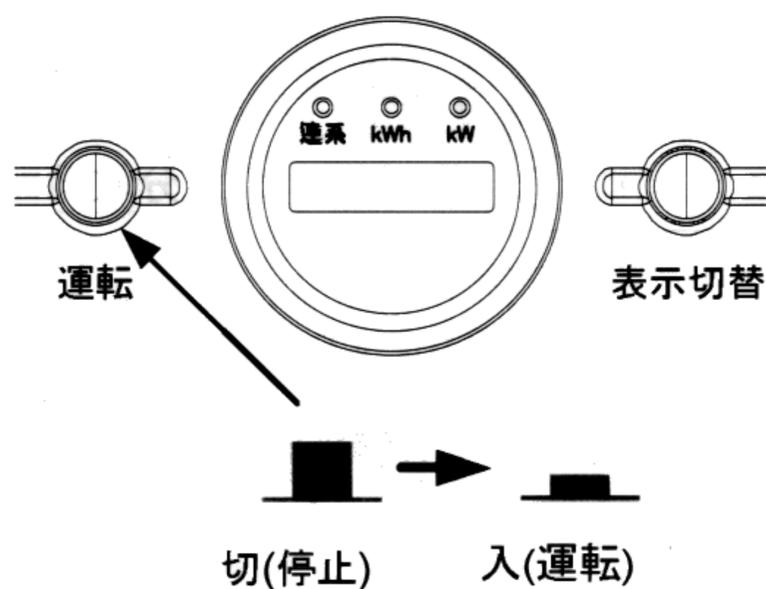


PV 分岐ブレーカ



分電盤の形および設置場所が地域によって異なる可能性があります。必要に応じて施工業者にお問い合わせください。

3. 運転スイッチをONにします。



分電盤がONになっていることを確認してから、発電を始めてください。表示部には‘運転開始までの残り時間(秒)’を表示します(約300秒)。